

# 糖尿病の恐さ伝える

## 豊橋ハートセンターで講演会

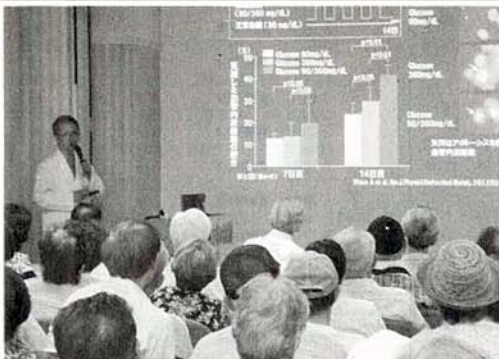
患者と医師の交流を目的にした月例講演会がこのほど、豊橋ハートセンター(鈴木孝彦院長)で開かれた。第一部で同センター友の会会長・宗田理氏(「戦争を語ろう」のテーマで、自らの辛い体験や戦争を知らない若い世代に、それを語り伝えることが必要と強調した。今の日本は豊かだけれど、生きるのが不安な時代にな

ったとも。

第2部は、同センター循環器内科の松原徹夫部長が「夏の夜のこわい話―糖尿病」をテーマに話した。プロジェクトで事例、症例など説明し、昔の文豪や現在の著名人にも糖尿病と闘う人が多いことなどを紹介した。

また、無症状だが検査でわかるケースもあるの油断は禁物と注意を呼びかけた。

(星野のりこ)



症例など説明する松原部長のハート講演Ⅱ豊橋ハートセンターで

# 認知症予防に効果

## 豊橋で脳の健康教室閉講式

心身ともに元気で若々しく。豊橋市社会福祉協議会が5カ月間に渡って開いた「脳の健康教室」の閉講式が28日、豊橋市総合福祉センター「あいつピア」で開かれた。

簡単な「読み書き」「計算」を通じて脳を

活性化させ、認知症予防を行う講座。今期は市内4会場で70・94歳の116人が受講、毎週1回教室に通うほか、毎日自宅学習に励んできた。

あいつピアでの閉講式には、皆勤者13人を含む31人が出席。松井晴男・同協議会事務局長から受講修了証と、皆勤者には皆勤賞が1人ずつ贈られた。

授与後は、講座を手伝った学習サポーターのあいさつや教材開発社のくもん学習療法センター(東京)の杉田靖典さんによるミニ講話、学習サポーターによる手遊びなど行われた。

「学習はもちろん、外出そのものや会場の友人づくり、ボランティアとの交流など、様々なことが認知症予防につながるっている。

(田中博子)

修了証を受ける受講者ら。あいつピアで